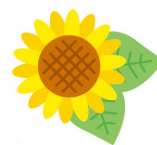


ひまわり



令和4年12月5日(月)

三方よし



先日、ある商品をネットで購入しました。購入するにあたっては、パソコンの画面でデザインや性能を確認しました。発注してから2日後、自宅に商品が届き、パッケージを開けてみると、見た目に違和感があります。再度、商品を購入したWebページの写真と見比べると、見た目の一部が明らかに違いました。購入した店舗にメールで問い合わせましたが、未だに返事はありません。

以前、商売で成功している人から、「商人の心得」というタイトルの講演を聴く機会がありました。その内容の一部を箇条書きで示します。

- 1 商売の大前提は、お客との信頼関係。お客をあざむくことがあってはならない。
- 2 そのためには、間違いのない商品を取りそろえる。仕入れ値が安いからといって、素性の分からない商品を仕入れてはいけません。
- 3 価格は良心的に設定し、流行の商品であってもぼろ儲けを考えない。
- 4 商品売ってそれで終わりではない。修理など、アフターサービスこそが信頼の裏付けとなる。
- 5 商品の受け渡し方や接客態度、お客への心遣いなど、すべてにおいて、上品かつ正直でなければならない。

上記内容とは反対に、お客が分からなければ高値をふっかける、いいかげんな商品売る、アフターサービスを怠るなど、お客をあざむく商売をすれば、やがてはその会社はつぶれてしまうでしょう。商売をするうえで大切なことは、お客が満足し、会社に利益があり、社会にも貢献できる「三方よし」を考えることです。これこそが商売の道徳であり正義だと思います。

さて、この「三方よし」を皆さんに学校生活にあてはめてみましょう。自分の行いが、友人（相手）、自分、仲間（学級、学年、学校集団）にとってプラスになることが大切です。その肝となるのが、頭を使うことと心遣いをするということです。しっかりと考えた言動を心がけ、人と接するときは細心の心遣いをする。そのような人が増えれば、自分と他者にとって、学校生活はさらに心地よいものになることでしょう。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

